TRiONiC

Veloped ユーザーガイド

SWEDISH DESIGN

Trionic Veloped をお選びいただき、ありがとうございます。

Veloped Trekをお選びいただきありがとうございます！ お客様に多くの快適な時間をお過ごしいただき、オフロードでも市街地でもTrionic Velopedをお楽しみいただけますことを願っております。

Trionic Veloped Trekをご選択いただきますと、さまざまなメリットを満喫していただけます。さまざまな屋外環境へのアクセスが向上し、クオリティ・オブ・ライフが高まることが期待されます。

ご利用前にユーザーマニュアルを注意深くお読みいただき、すべてのガイドライン、特に安全に関する指示にお従いください。

これら操作説明には、Trionic歩行器の調節と操作に必要なすべての説明が含まれています。

このユーザーマニュアルは、すべてのユーザーとサポートスタッフの皆さまに、この製品を安全にお使いいただくための基本的な情報を提供することを目的としています。このマニュアルには、歩行器の準備、使用、メンテナンス、サービスに関する情報が含まれています。この機器を実用的な方法で最大限に活用するとともに、操作の信頼性を維持するには、常に指定された取り扱い手順を守っていただく必要があります。ユーザーがいつでもユーザーマニュアルを参照できるようにしておいてください。

このユーザーマニュアルは納品の範囲に含まれています。当社は、さらなる技術開発の結果として、このマニュアルのバージョン変更を行う権利を留保します。

著作権は製造元が所有しています。このユーザーマニュアルは更新サービスの対象ではありません。

第三者による再利用

ローレーターを新しい使用者に譲渡する場合は、安全な操作に必要なすべての技術文書を忘れずにお渡しください。Tionic Sweden AB は、新しい使用者に譲渡する際の製品の状態について責任を負いません。

Veloped ユーザーガイド
Trionic Veloped 14er L

Velopedはユニークな3輪設計ですが、ご覧の通り、実際には4輪です。 特に、屋外で活発に活動したい方向けの歩行補助具として使用することを目的としています。 歩行と、ユーザーのアクセスを円滑にすることを重視して開発されたVelopedは、唯一無二の製品です。 主な特徴は、高さ13cmまでの障害物を乗り越える能力を持つデュアルフロントホイールです。従来のホイールと比較して、より小さな障害物を乗り越えるために必要な力も大幅に軽減されます。3輪設計と前輪のサスペンション、空気の入ったタイヤが相まって、あらゆる凹凸のある路面で快適性とアクセスのしやすさの両方が向上します。

タイプ:
クラスI医療機器 (MDR 2017/745)

目的: 歩行補助具

メーカー:

Trionic Sverige AB · Märstagatan 8 · SE-75323 Uppsala · スウェーデン
support@trionic.com
03-4578-9640

マニュアル改訂日: 2025-05-01

技術データ

	14er L
最小高さ:	84 cm
最大高さ:	104 cm
幅:	79 cm
長さ:	107 cm
シートの高さ:	65 cm
シート幅:	44 cm
ホイール サイズ:	14"/36 cm
寸法折り返し:	111 x 42 x 84 cm (長さ x 幅 x 高さ)
車輪なしで折りたたんだサイズ:	84 x 42 x 68 cm (長さ x 幅 x 高さ)
輸送重量 (Sport):	12,5 kg
輸送重量、車輪なし:	8,3 kg
最大ユーザー重量:	150 kg

安全性

- シートを使用する前に、両方のブレーキをパーキングモードでロックする必要があります。
- Veloped を持って歩き始める前に、完全に展開されていることを確認してください。
- 急な地形や傾斜地では特に注意してください。
- Veloped の安定性は、バスケットに 5 kg の荷重をかけてテストされています。バスケットに追加の重量を載せる場合は、バスケット内で重量が均等に分散されるようにしてください。
- 重要: この医療機器の使用中に重大な事故や事件に遭遇した場合は、必ず製造元と居住国の関連医療当局にその事件を報告してください。

正しいグリップの高さ

Velopedの正しい高さを設定する方法

多くの歩行器ユーザーは、より直立した姿勢を促進できると考えて、グリップを高く設定しすぎます。しかし、これは実際には姿勢を悪化させ、安定性に悪影響を及ぼします。

すべての理学療法士とすべての歩行器メーカーが推奨しているように、次の手順で Veloped の正しいグリップの高さを決定できます。

1. 靴を履いたまま、できるだけ背筋を伸ばして立ち、両腕をリラックスした状態で体に沿って垂らします（肘を少し曲げます）。
2. 床から手首の骨までの垂直距離を測定します = 推奨グリップの高さ。

グリップを手首の高さにした場合:

- 肩を上げる必要がなくなり、体重の大部分を分散させることができます。
- ハンドグリップに近づいて歩くことができるため、より直立した姿勢を保つことができます。
- より垂直方向（下方向）の重量配分により、安定性とブレーキ性能の両方が向上します。

初めてご利用の場合

1. 後輪の中央にある黒いボタンを押し、車軸を車軸穴の奥まで押し込んで、後輪をフレームの後車軸穴に取り付けます。押しボタンを離します。

2. 車輪を横に引いたり押したりして、正しく取り付けられていることを確認します。

3. 同じ方法で、前輪サスペンションをフレームの前下端に取り付けます。つまり、車軸の下部にある黒いボタンを押し、車軸を下から車軸穴に押し込みます。押しボタンを離します。

4. フレームを地面から持ち上げ、前輪を下に引いて、前輪がしっかりと固定されていることを確認します。

5. クイックリリースレバーを開き、「正しいグリップの高さ」の章の説明に従ってグリップの高さを調整します。

ウォーキングモード

グリップバーのハンドルを横に引いて、Veloped を広げます。

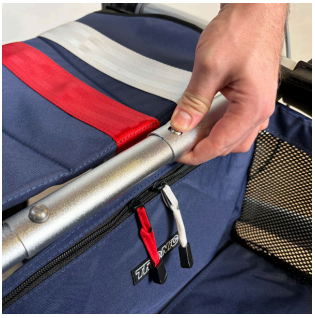
Veloped が歩行モードでロックされていることを確認します。展開時に、伸縮ステーが所定の位置にロックされるカチッという音が聞こえることを確認します。

シートは前後にスライドできます。前方に押すと歩行スペースが最大限に確保されます。

シートを使用する前、バスケットに手を伸ばしたり、Veloped を折りたたむ前に、シートを後方に引きます。

Velopedを折りたたむ

シートを後方に引きます。



伸縮ステーの右側にあるボタンを押します。

フレームの片側と反対側を近づけ、伸縮ステーの左ボタンに手を伸ばします。

伸縮ステーの左側にあるもう一方のボタンを押します。

一方のフレームの半分を同時に持ち上げて、もう一方のフレームの半分に折り曲げ、Veloped を完全に折りたたみます。

パーキングブレーキ

パーキングブレーキは 3 つの方法で作動できます。

オプション 1: 人差し指で下部の赤いパーキング トリガーを押し下げながら、同時にブレーキ レバーを引きます。パーキング ブレーキがかかっており、Veloped が動かないことを確認します。

オプション 2: 親指で上部の赤いパーキング トリガーを後方に引き、同時にブレーキ レバーを引きます。パーキング ブレーキがかかっていることを確認します。

オプション 3: 両手を使用します。片方の手で上部の赤いパーキング トリガーを後方に引き、もう一方の手でブレーキ レバーを引きます。パーキング ブレーキがかかっていることを確認します。

パーキングブレーキを解除するには、モーションブレーキを使用する場合と同じ方法でブレーキをかけます。

モーションブレーキ

モーションブレーキを操作するには、ブレーキレバーを上方に引きます。両方のレバーを同時に使ってブレーキをかけます。

グリップ高さ調整

両方のクイックリリースレバーを外側に折りたたんで解放します。

グリップバーを必要な高さに調整します。最も適切な高さは、腕を自由に垂らした状態で立ったときの手首から地面までの距離です。測定には補助を使用してください。

注意: グリップバーを調整する最も簡単な方法は、シートに座っているときです。こうすることで、高さ表示マークがはっきりと見えるため、高さ調整が簡単になります。

両方のクイックリリースレバーを内側に折りたたんでロックします。

注意! クイックリリースレバーを蝶ナットやネジのように操作しないでください。Veloped の使用中にユーザーが誤ってレバーを外すリスクがある場合は、クイックリリースレバーをネジとナットに置き換えることができます。

グリップ角度調整

グリップの角度を調整できるので、快適な手の位置と最適なサポートが得られます。

1. 4mmの六角レンチを使用して、グリップの後端にあるネジを緩めます。

2. グリップを好みの角度に回転させます。

3. グリップの後端にあるネジを4mmの六角レンチで締めます。

後輪の取り付け

後輪は取り外し可能で、Veloped の輸送が簡単になります。

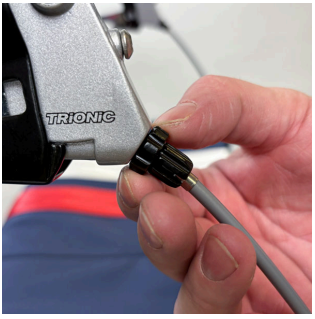
ホイールを取り外すには、ホイールの中央にある黒いボタンを押して、ホイールを引き抜きます。

ホイールを取り付けるには、ホイールの中央にある黒いボタンを押して、ホイールの車軸を車軸穴に押し込みます。ホイールが最終位置になったらボタンを放します。

タイヤを持ち、ホイールを横方向に前後に押したり引いたりして、ホイールが適切に固定されているかどうかを確認します。

ブレーキ調整

1. ブレーキの効きが悪い場合は、各ブレーキレバーの調整ネジを緩め（反時計回り）、ロックナットをハンドルに向かって締めて（時計回り）、所定の位置に固定します。



ブレーキがまだうまく機能しない場合は、販売店または Trionic Veloped のサービス担当者に連絡してください。

前輪の取り外し/取り付け

前輪サスペンションは取り外し可能で、Veloped の輸送を簡素化します。

フロントヒンジの下の黒いボタンを押して、前輪サスペンションを解除します。

ホイールサスペンション全体を取り外すには、ホイールサスペンションを下方に引きながら、フレームの前端を表面から持ち上げます。

前輪サスペンションを取り付けるには、フレームの前端を持ち上げ、黒いボタンを押して、ホイール アクスルをフレームの下に配置されたアクスル ホールに押し込みます。黒いプッシュ ボタンを放します。

気圧

タイヤの空気圧を定期的に確認してください。Trionic は 1.5 bar/22 psi のタイヤ空気圧を推奨しています。最大タイヤ空気圧は 2.5 bar/35 psi です。

前輪の設定を変更する

ホイールには、簡単なステアリング用と方向安定モード用の 2 つの設定があります。前輪の車輪の間に調整ハンドルがあり、この 2 つの設定を切り替えることができます。

イージーステアリングモード/下位置:

登坂能力を維持しながら、簡単に旋回できます。

方向安定モード/上位置:

登坂能力が向上し、不均一な路面でもサスペンションが効き、方向安定性が向上します。Veloped は操縦が難しいですが、オフロードでのパフォーマンスは優れています。

調整ハンドルに簡単にアクセスできるように、前輪を 180 度回転させます。

1. 左手で左の車輪をつかみ、Veloped の前端を地面から少し浮かせます。

2. 左手で Veloped を持ち上げた状態で、右手で赤いノブをつかみ、外側 (手前) に引きます。

3. アジャスター (右側) を下または上にスライドします。アジャスターを一番下または一番上の位置までスライドさせることが重要です。

4. 赤いノブを放すと、ノブが跳ね返って前輪が選択した設定にロックされます。

バスケットの取り外し/取り付け

Trionic Veloped のバスケットの積載容量は 22 リットルです。後端には貴重品や小さな物を入れるための小さなジッパー付きポケットがあります。Veloped のバスケットは取り外し可能で、3 つのベルクロ セクションでフレーム バスケット レールに取り付けられています。

1. 後部のベルクロ フラップを、フレームとバスケット レールの間の下からレールの周りに巻き付けます。内側に折り曲げて、ベルクロ部分をバスケット ライニングの内側に固定します。

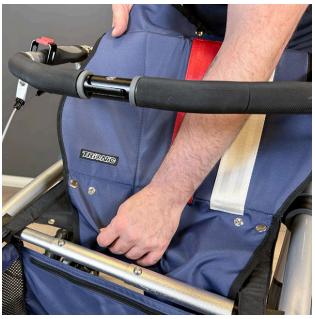
2. 前面のベルクロフラップも同様の方法で取り付けます。

3. 必要に応じて、ベルクロ部分を調整して、バスケットが適切に固定されていることを確認します。

注意！バスケットをフレームに取り付ける前に、バスケットの下部スリーブにプラスチックプレートを必ず挿入してください。

シートの取り外し/取り付け

Veloped のスライドシートは、シートベースと、9 つのプッシュボタンで固定された取り外し可能なカバーで構成されています。



1. Trionic の文字が右側になるようにシートカバーを持ちます。長いフラップを伸縮ステーとシートベースの間に巻き付けます。

2. 長いフラップの前面にある 3 つのプッシュ ボタンをシート ベースに取り付けます。

3. 短いフラップの 3 つのプッシュ ボタンを押してシートベースに固定します。

4. 最後に、長いフラップの最後の 3 つのプッシュ ボタンを短いフラップに押し付けます。

安全に関する注意事項

使用する前に、Trionic Veloped が正しく機能していることを確認してください。

- モーションブレーキとパーキングブレーキの機能を確認します。
- フレームが展開歩行モードでロックされていることを確認してください。
- グリップバーが正しい高さにしっかりと固定されていることを確認します。
- 挟まれる恐れがあるため、フレームを展開する際には前端に触れないようにしてください。
- 使用者の体重は150kgを超えてはなりません。T
- Trionic Veloped を車椅子として使用したり、人を運ぶために使用しないでください。
- Veloped は主に屋外での歩行補助器具として使用することを目的としています。

サービス手順

機能と安全性を維持するために、次の作業を定期的に実行してください。

- Veloped を通常の食器用洗剤、水、布巾で洗います。きちんと乾燥させてください。
- 食器用洗剤、水、プラスチックブラシを使用してホイールを清潔に保ちます。
- ネジとレバーが適切に締められていることを確認してください。
- Veloped が完全な状態ではない場合は、Trionic Veloped のサービスを許可された小売店/ディーラーまたはサービス担当者に直ちにご連絡ください。

4〜5週間ごとにタイヤの空気圧をご確認ください。Trionicは1.5バール/22psiのタイヤ空気圧を推奨しています。

Trionic は、事前の許可なく製品に行われた変更 (調整または不適切な修理) については責任を負いません。

保証

Trionic Veloped には、通常の摩耗の影響を受ける部品 (タイヤ、チューブ、ブレーキ パッド、ブレーキ ケーブル、ブレーキ ケーブル ハウジング、グリップ、繊維部品) を除き、10 年間の保証が付いています。保証は購入日から有効で、Trionic のオリジナル部品のみを対象としています。

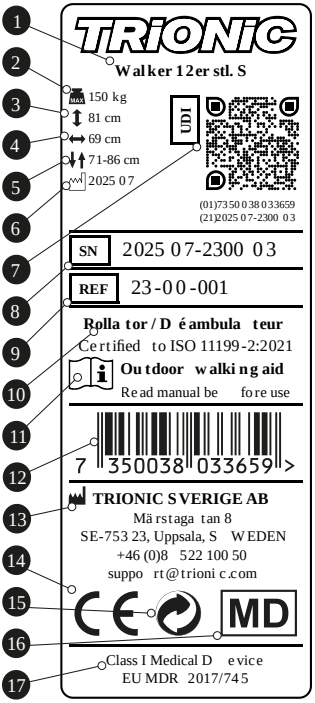
CE - Trionic Sverige AB は、上記の製品が医療製品に関する関連法規制要件 (1993:584) および医療製品規定 (LVFS 2003:11) に含まれる仕様を満たしていることを保証します。製品は、医療技術製品に関する EC 指令 93/42/EEC の仕様を満たしています。

ラベル

Veloped は、歩行器に関する国際規格 ISO 11199-2:2021 に従ってテストおよび承認されており、医療機器に関する EU 規制 MDR 2017/745 の要件を満たしています。

使用者の体重は150kgを超えてはなりません。

1. 製品名
2. 最大ユーザー体重
3. 長さ
4. 幅
5. 高さの最大値と最小値
6. 製造日
7. UDI/デジタル製品パスポート: GS1 QRコード (AIDC/HRI)
8. シリアルナンバー
9. 品番
10. ISO 11199-2:2021認証取得歩行器
11. 使用前にユーザーガイドをお読みください。
12. 商品コード: GTIN13
13. メーカー
14. CEマーク
15. 環境に優しい
16. 医療機器
17. 製品はMDR 2017/745に従って承認されました



環境に優しい

Trionic Veloped は、ライフサイクル全体を通じて環境への悪影響を可能な限り少なくするように製造されています。製品が目的を果たせば、廃棄して部品をリサイクルすることができます。

- 製品のアルミニウム部品は、リサイクルのために選別される際に残りの部品から分離されます。部品は金属、プラスチック、混合材料に分類されます。
- 製品の大部分はアルミニウム、スチール、プラスチックで作られています。
- 混合材料で作られた部品の例としては、ブレーキレバー、ホイール、グリップバーなどがあります。
- リサイクル可能な材料の取り扱い方が不明な場合は、自治体やリサイクル会社によってリサイクル方法が異なるため、地方自治体にお問い合わせください。

Trionic Sverige AB は、アイルランドの Repak Ltd および英国の Valpak Limited のメンバーであり、1994 年 12 月 20 日付けの欧州包装および包装廃棄物指令を完全に実施しています。

Veloped ビデオ 製品デモンストレーション

スマートフォンで説明をご覧ください。カメラアプリを開いてQRコードに向け、画面に通知またはリンクが表示されるまでスマートフォンを固定します。通知をタップしてリンクを開き、ビデオの視聴を開始します。さらに、パソコンでビデオに直接アクセスするための手動リンクも用意されています。何か問題がある場合、またはさらにサポートが必要な場合は、遠慮なくサポートチームまでご連絡ください。

Trionic Veloped - 車に入れる方法

Trionic Velopedは歩行器に代わる、すべての地形に対応した現代的な製品です。動画では、Velopedを車 (VW Golf) のトランクに入れる方法を説明しています。

続きを読む : qr.trionic.info/trunk

Velopedのブレーキはどのように調整するのですか？

安全にVeloped / Walkerを使用するには、時間の経過とともにブレーキが磨耗するので、調整する必要があります。ブレーキの調整には8mmスパナが必要です。

qr.trionic.info/brakes

保証書

Trionic Veloped には、通常の摩耗の影響を受ける部品 (タイヤ、チューブ、ブレーキ パッド、ブレーキ ケーブル、ブレーキ ケーブル ハウジング、グリップ、繊維部品) を除き、10 年間の保証が付いています。保証は購入日から有効で、Trionic のオリジナル部品のみを対象としています。

購入日:

シリアルナンバー:

日付/署名

Trionic Sverige AB · Märstagatan 8 · SE-75323 Uppsala · スウェーデン

support@trionic.com

03-4578-9640